# 船橋税務署長賞

## 誰かの安心の為に

船橋市立行田中学校
第二学年　冨野　玲

今年のお盆、祖父の家がある秋田へ帰省した。久しぶりの街を車で走っていると、以前来たときとは違う景色に気が付いた。新しくバイパスが出来ていたのだ。さらにトンネルや駅前の道路も綺麗になっていた。以前より道が広くとても快適に移動することが出来た。

そんな中、両親が

「ガソリンが安くなって良かったね。」

と話していた。長距離移動だったので、価格が少し下がるだけでも負担が大きく変わる。ガソリンにも税金がかかっており、道路の整備など、私たちを支える財源となっているそうだ。今年、ガソリンの暫定税率が廃止され、価格が下がった。私たちのような車を利用する人にとっては嬉しいが、一方で税金がなくなれば、その分だけ財源も減ることになる。それは本当に良いことなのだろうか。

さらに祖父の話からも税金の使い道を知ることが出来た。それは、冬の除雪サービスである。秋田は冬になると多くの雪が降るため除雪は必要不可欠だ。私も小さい頃は、父と祖父と雪かきをして、家の横に作った雪山でよく遊んだ。大きい道路は除雪車が雪かきをしてくれるが、家から道路に出るまでの道や屋根の上などは各自で行う。しかし高齢となった今は、雪かきが大変になってきたそうだ。そこで除雪サービスを利用し、冬でも安心して生活が出来ると言っていた。私はこれまで雪が降れば除雪されることを当たり前のように思っていた。しかし、私たちの生活は、国民が納めている税金に支えられ、それを有効に活用する各自治体や国にも支えられているという事が分かった。

税金は私たちの暮らしに欠かせないものだ。しかし、その使い道が分かりにくいため「こんなに税金を納めているのに、何に使われているのだろう。」と疑問に思ってしまう。私自身も、消費税などを支払うたびに「税金は高い」と感じていた。しかし、今回の帰省で税金の使い道が見えた事により、税金に対する疑問が感謝に変わった。何にどれだけ使われているのか、今より分かりやすく見えるようになれば、税金を納めている側もその必要性に気付くのではないかと思う。

いつか私も税金を納める側になる。その時、今回秋田で見た道路の整備や、祖父の生活を支える除雪のように、誰かの安心や便利な暮らしを支える事になるのだと思うととても嬉しい。そしてこの先、年を重ね誰かの助けが必要な時、今度は次の世代に支えてもらう事になる。

この夏休み中だけでも、地震や豪雨等の災害が起きた。道路の復旧や被災者支援などにも税金は使われている。少し考えるだけでも税金の使い道は沢山見えてくる。そして普段当たり前だと思っている安定した暮らしも、税金で成り立っている事が分かった。今を安全に生き、その安心を未来へと引き継ぐ為に、私もいつか、それを支える一人になりたい。